

SHO-BOND

ひび割れ注入工法

ひび割れの表面に塗布するだけで、内部に浸透し接着する塗布型ひび割れ注入工法

SHO-BOND

キャ ッ プ

CAP工法

国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録 KT-120057-VE



キャップ
CAP工法は、コンクリート表面の微細なひび割れ部に注入材を塗布すると、ひび割れの深部まで浸透接着しますので、注入器具を用いることなくひび割れ補修ができます。

■補修工学—— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

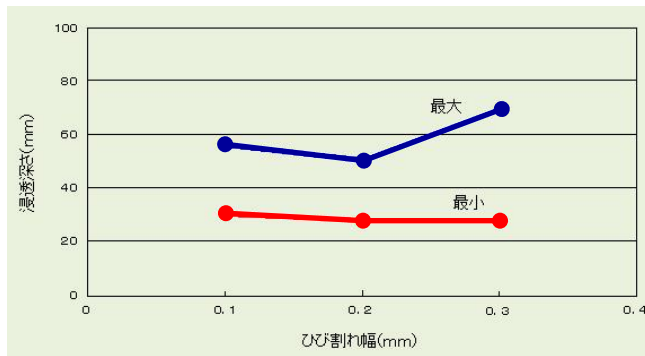
特 長

1. 注入器具を用いなくて、幅0.3mm以下の微細なひび割れを補修できます。
2. ひび割れ表面に注入材を塗布するだけで、毛細管現象によりひび割れ内部に浸透し、接着一体化します。
3. 湿潤したひび割れ面の接着性にも優れています。
4. ひび割れ部からの劣化因子を遮断する効果があります。

ひび割れ浸透性能

供 試 体：ひび割れ部塗布5回(上向き浸透)

試験条件：曲げ試験(23℃)

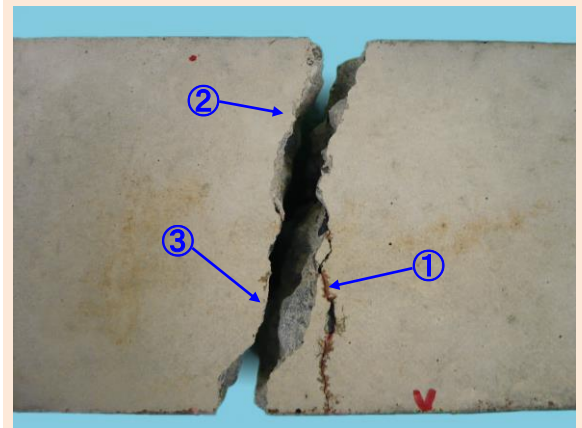
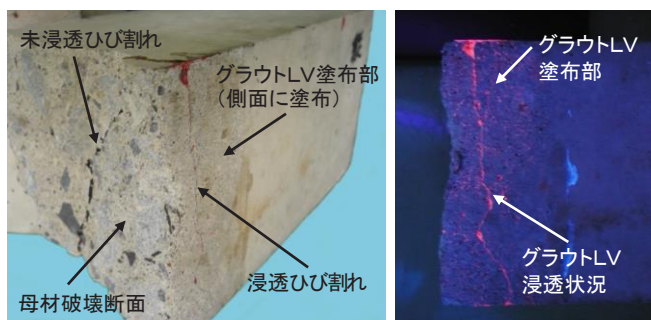


ひび割れ浸透後の状態(曲げ試験後)

供 試 体：ひび割れ部塗布5回(横向き浸透)

ひび割れ幅0.2mm

試験条件：曲げ試験(23℃)



曲げ試験・破壊後の供試体側面
(下面にグラウトLVを塗布)

- ① 接着効果によりひび割れ部は未破壊
(注入材浸透部)
- ② ひび割れ部で破壊(注入材未浸透部)
- ③ ひび割れ部以外で破壊

施工手順

1. ひび割れ部にグラウトLVを、ローラー刷毛等を用いて塗布します。
2. 塗布したグラウトLVは、ひび割れに吸い込まれます。吸い込みがなくなるまで、繰り返しグラウトLVを数回塗布*します。この時、塗布部はひび割れ部周辺のみとします。

* 再塗布の回数は、ひび割れ下部にグラウトLVが溜まった状態(床版下面の場合)になるまでとします。ひび割れ内部の状態によりグラウトLVの吸い込みが違うため同一回数にはなりません。4~5回を目安としてください。(使用量は、200~300g/mが目安です。)

■製造・販売

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<https://www.sb-material.co.jp>

■販売

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<https://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱店